

介護保険システム等標準化検討会 給付ワーキングチーム
第2回議事概要

日時：令和3年10月15日（金）15:30～17:15

場所：日本コンピュータ株式会社 東京本社セミナールーム A・B 及び WEB 会議

出欠（敬称略）：

（構成員）

出席	生田 正幸	関西学院大学人間福祉学部教授
出席	後藤 省二	株式会社地域情報化研究所代表取締役社長
出席	佐藤 博之	川口市福祉部介護保険課 主査
出席	谷萩 賢治	板橋区健康生きがい部介護保険課 資格保険料係長
出席	大竹 里沙	川崎市健康福祉局長寿社会部介護保険課 主事
出席	清水 俊博	甲府市福祉保健部福祉支援室介護保険課 主事
出席	森山 真由美	出雲市健康福祉部高齢者福祉課 主任（代理出席）

（オブザーバー）

欠席	伊藤 豪一	デジタル庁 プロジェクトマネージャー
欠席	前田 みゆき	デジタル庁 プロジェクトマネージャー
欠席	池端 桃子	デジタル庁 プロジェクトマネージャー
出席	丸尾 豊	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
欠席	清水 康充	デジタル庁統括官付参事官付 参事官補佐
欠席	吉積 亮	デジタル庁統括官付参事官付
出席	羽田 翔	総務省自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室 室長補佐
出席	巢瀬 博臣	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐
出席	島添 悟亨	厚生労働省政策統括官付情報化担当参事官室 室長補佐
		老健局介護保険計画課 社会・援護局障害福祉部企画課 併任
欠席	坂本 裕一	厚生労働省老健局介護保険計画課 課長補佐
出席	富澤 直嗣	厚生労働省老健局介護保険計画課 企画法令係長
出席	中村 美咲	厚生労働省老健局介護保険計画課

【議事次第】

1. 開会
2. 第2回 WT の検討概要
3. 1.1 版案への反映
4. その他

【議事概要】

○構成員意見

- ・ 給付管理等の事務で現金で支払いを行う業務について、自治体によっては職員1人で対応することが多い中で、職員の不正処理を検知したり、防止したりすることができないか考える必要があるのではないかと思います。事務処理の原則から外れるかもしれないが、監査制の観点から何かしら検討する必要があるのではないかと考えるが、不正処理を防止する機能や仕組み等の考えがあれば、事務局に確認したい。

⇒（事務局）生活保護や児童扶養手当において、不正処理等の懸念が一番大きいと考えているため、他業務との意見交換等を通して横並びで標準仕様へ反映すべき内容は反映したい。現行システムにおいても課長等の決裁権限がある場合は対処しようがないが、対応としては決定できる操作権限を制限することで不正を防ぐことはできると確認している。

また、生活保護と児童扶養手当の標準化検討は第2グループであるため、介護保険の標準仕様への反映時期は明確にできないが、引き続き考えていきたい。なお、児童扶養手当の標準化検討会の座長に当検討会の座長が着任されたため、当意見を認識いただき、連携していただきたいと考える。

⇒（構成員）担当職員が処理できてしまうことや、決裁を取らずに決定の入力ができるようになっていないか等、住民記録の検討会でも話題になっていた。

⇒（座長）児童扶養手当の検討会は今後本格化するため、当意見を踏まえて向き合っていき、情報があれば、事務局に共有していく。

⇒（事務局）自治体における財務会計の支出負担行為や支出命令の流れを踏まえると、不正なデータ作成をどのように防ぐかという観点で検討していきたい。

⇒（構成員）財務会計では総合支出として複数人分まとめて支出命令を行っており、支払口座や支払金額等の情報を簡単に書き換えられる状態でデータ自体を書き換えられた場合、財務会計では確認できないため、懸念している。

○事務局

- ・ 帳票レイアウト変更不可への対応において、実装オプション項目に対する対応案として、1.0版のレイアウトを見直した上で備考や自由記載欄へ必要な項目を印字する案と、1.1版のレイアウトのままとし、印字しない実装オプション項目の出力箇所を＊等の伏字で埋める案のどちらがよいか、確認したい。

⇒（構成員①）印字項目を表示する法的根拠等も踏まえ、備考や自由記載欄の対応案がよい。

⇒（構成員②）文言マスタで管理できることが重要と考えるため、備考や自由記載欄の対応案がよい。また、伏せ字の対応案の場合、印字項目等は可変で対応することができないため、印字方法に許容がある対応案がよい。

⇒（構成員③）住民からの問合せが増えてしまう可能性があるため、備考や自由記載欄の対応案がよい。

⇒（構成員④）伏せ字の対応案は住民等の理解が難しいと思われるため、備考や自由記載欄の対応案がよい。

⇒（構成員⑤）入力のない項目で空欄が生じるようであれば「＊」で埋めるほうが見やすいと考えるため、伏せ字の対応案がよい。

- ⇒（事務局）備考や自由記載欄の対応案であっても、自治体にて通知等が必要な実装オプションの印字項目等を印字する想定であるため、基本的に印字欄が空欄になる可能性は低いと考える。
- 意見を取りまとめた結果として大多数の構成員からは、備考や自由記載欄の対応案に賛同いただいたため、備考や自由記載欄の対応案で基本的には対応を進めるが、構成員⑤の意向を個別に確認し、必要に応じて対応案を精査していく。
- ⇒（構成員⑤）事務局からの説明で理解できたため、備考や自由記載欄の対応案で異論はない。
- ⇒（事務局）了解した。

以 上